

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 日米沖縄返還交渉/国会提出資料（第067回）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43674">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43674</a>

(7) 文部省

0220

0220

12月入手 文部省参考資料  
 国合には提出していい

資料2

文部第86号  
 1971年3月20日

琉球列島 相模政府  
 高等学務官 殿

琉球政府 学務長

米軍基地による教育活動阻害要因の除去  
 について (要請)

米軍の演習および施設等によって、別紙のとおり、多数の  
 学校の児童生徒及び職員に大きな不安を抱かせ、心身の障  
 害をきたし、教育活動を著しく阻害しており、教育  
 機関および校通文足も困惑におとしいれてあります。  
 早急に不安を解消して正常な教育活動が実施できるよう万  
 全の措置を講じられることを強く要請します。

1. 爆音被害のある学校

委員会名	学校名	状況
宜野座	宜野座中学校	福山 惣慶海岸での演習時(月=1~2回)爆音の被害が大きい。平日以上空襲行の爆音が1日=10回前後発生している。
全武	全武小、全武中	B52艦隊後は旧6日~7日上空飛行の爆音がある。
具志川	天領小	B52艦隊後は1時前後1回前後の爆音がある。
宜野座	普天間中校、普天間中校	普天間飛行場での集中演習時を除く(1日平均10回前後のヘリコプターの爆音がある)
読谷	高良小	F-4Bの爆音が2回~3回発生している。
読谷	古堅小、古堅中	爆音発生が多く既に本土基準に達した施設が5校あり、一部は施工中である。
嘉手納	嘉手納小、嘉手納中、嘉手納小	同上

2. 演習場周辺の学校

委員会名	学校名	距離	状況
4.6頃 解放工作... 上野部	上野部中、豊川小、龍見小	100~300m	ヘリコプターの騒音及び落下不安
宜野座	松田小学校	500m	抑撃場に近い。
全武	全武小、全武中、嘉志小、中川小	1.5km ~ 5km	着弾騒音及び流弾の被害(暴行の途)
伊江	西小、伊江中、伊江中	4km	爆撃機が飛行しての騒音
恩納	恩納中、恩納中、恩納小	500m	着弾音・流弾の被害
石川	伊波小	300m	演習場から近い児童生徒の被害がある
読谷	読谷小、読谷中、読谷小、読谷小	400m~1km	落下爆撃の落下爆撃による不安、爆撃機が飛行しての騒音
嘉手納	嘉手納小、嘉手納中、嘉手納小	100m	同上

3. ガソリンタンク周辺へ学校

委員会名	学校名	ガソリン 距離	状況
直野湾	直野湾小学校	1km	火災発生後、不安
取崩	取崩小学校	800m	同上

4. 弾薬集積所周辺へ学校

委員会名	学校名	集積所 からの距離	状況
思川	山田小学校	2km	集積所へ、弾薬処理場 に火災発生、不安
嘉手納	嘉手納小 嘉手納中、居良中	1km以内	集積所へ、飛行場へ 飛行機へ火災発生、不安
読谷	読谷中、読谷小 嘉手納小、読谷小 古里小、古里中	1km以内	飛行場へ、読谷中へ 飛行機へ火災発生、不安

5. 学校敷地と高圧線等へ通達して居る学校

委員会名	学校名	状況
嘉手納	嘉手納小 嘉手納中	油道へ、火災に備へる 注意喚起
美里	北美里小学校	高圧線へ架設、油道へ、火災に 備へる、事故発生、注意
具志川	川崎小	高圧線へ架設
傍連	古里中	高圧線へ架設

衆 沖 特

社 公

国 会 提 出 資 料

昭 和 四 十 六 年 十 一 月  
文 部 省

教育区・連合教育区の職員数、教育区・連合教育区の職員の復帰後の配置計画

沖縄の宗教団体に基づく法人である宗教団体の名称、組織状況、資産状況

琉球政府が保管している神社明細帳に記載されている神社の名称、組織状況、資産状況

沖縄の公立義務教育学校および高校等の施設水準の本土との比較

沖縄の小・中学校の未買上げ敷地の面積および借地料

沖縄文化財保護育成対策の内容

教員給与の実態

社会教育施設の現状

公共図書館の規模

へき地教育の実態

体育・スポーツ施設の実態

地方教育公務員の実態——琉球政府立教育区立小中高等学校および特殊教育諸学校の教員数（男女別・在令別）

（各省別公共施設の本土との格差——学校施設、社会教育施設等で前掲のとおり）

(注)

係 津特

1971

○ 教育区の職員の数

1971. 5現在

地区	教育委員会 事務局職員	学 校 教 職 員			合 計
		教員(校長・園長・ 教頭を含む)	学校事務職員	その他の学校職員	
北 部	63人	1,334人	56人	220人	1,673人
中 部	82	2,501	138	433	31154
那 覇	69	2,334	151	364	2,918
南 部	58	1,150	47	169	1,424
宮 古	31	752	27	124	934
八 重 山	21	633	17	117	788
計	324	8,704	436	1,427	10,891

(注) 1. 休職員数を含み、補充教員は含まない。

2. その他の学校職員とは、給食職員、学校図書館職員、用務員その他の職員をいふ。

○ 教育区の職員の配置計画

教員は沖縄県の市町村の学校の教員に、その他の教育区の常勤の職員は沖縄県の市町村の職員となる。

◎ 連合教育区の職員の数 1971.5現在

連 合 教 育 区	職 員 数
北 部	22
中 部	23
那 部	25
南 部	18
宮 部	14
八 重 山	15
計	117

◎ 連合教育区の職員の復帰後の配置計画

連合教育区の常勤の職員は、沖縄県または沖縄県の市町村の職員となる。

○ 沖縄の宗教団体の名称に基づき法人である宗教団体の名称、組織状況、資産状況（1997年4月現在）  
 資産状況については、琉球政府は宗教団体の名称による宗教法人に報告させていないので不明である。

宗教団体の名称	組織		所在地	代表者		備考
	所	在		名	表	
護国寺	那覇市若狭町1の4			名 幸芳	章 淳	仏教系
照大寺	伊江村字西江前307			渡嘉敷 宗典	淳行	"
仏立寺	那覇市安里1の301			新元 惟		"
与勝寺	勝連村大字平安名字奥武884			田原 惟		"
光明寺	那覇市字職名職名原111			本間	敏	"
西来院	那覇市首里赤田町1の5			片岡		"
祥雲寺	宮古平良市西里4			岳本 弥	利	"
逃林寺	八重山石垣市字石垣285			安里 弥	清	"
蓮華院	糸濱町新島区805			岡本 惠		"
文眼寺	那覇市首里山川3の1			善国 乘	宣	"
萬松院	那覇市当蔵4班35号			松久 宗	悦	"
臨海寺	那覇市垣花町			糸数 須	道	"
妙徳寺	那覇市壹屋町29			新垣 宣	恒	"
遍照寺	那覇市首里大字末吉			馬場 法	丸	"
神応寺	那覇市紫多川25			大西 法	丸	"
神徳寺	那覇市字安里28			仲尾 次	忠	"
神現寺	那覇市上之屋392			仲尾 次	盛	"
神宮寺	宜野湾市字普天間716			金原 大	雅	"
神真寺	那覇市蓮辺町377			田原 惟	信	"
大典寺	那覇市松下町1の71			藤井 深	忍	"
本願寺	八重山石垣市登野城124			藤井 深	忍	"
観音寺	金武村字金城222			元山 深	章	"
正依分會	浦添市勢理谷神森原236			宮城 一	範	"
沖正依分會	那覇市上之屋326			安里 福	壽	"
沖羅聖公会	浦添市徳川			ハイナ 福	司	キリスト教系
那覇バプテスマ教会	那覇市茂辺292			国吉	守	"
首里バプテスマ教会	那覇市首里山川町1の17			城間 祥	介	"
普天間バプテスマ教会	宜野湾市野島1の265			名護 良	建	"
沖縄キリスト教団本部	那覇市久米町1の51			松田 定	雄	"
大謝名キリストの教会	宜野湾市字真栄原131			ウイリアム・H・ローレンス		"
沖縄ナザレン教会	那覇市職名893			ウエイン・W・カツス		"
那覇ホーリネス教会	那覇市二中前714			瀬尾 弘	志	"



琉球列島カトリック教会	那覇市楚辺377	フレリックス・レイ	キリスト教系
恵みパンテス ト教会	久米島具志川村字仲泊116	ジェームスコイ・カークト	"
アッセンブリー オブコソト教会	石川市字石川1971	フレント・ピーサント	"
首里教会	那覇市首里当蔵2の18	仲里朝章	"
ゴザキリスト 伝道館	コザ市胡屋86	神山本慎	"
神の宮 屋仲屋 キリスト聖書教 会	那覇市大道380	本村進	"
日本キリスト教 団仲屋区高原 教会	美里村字高原362	知念哲雄	"
隣人キリスト 教会	那覇市委屋町333の3	ジェス・L・ベチイコ	"
前原パンテス ト教会	具志川市字前原233	照屋寛武	"
キリストの教 会	名護市宮里3の134	比嘉良充	"
カトリックカ ンチン修道会	那覇市楚辺377	ヒラリオン・トウラ	"
米清教会	米満市米満1692の2	新垣武夫	"
再建未聖徒イ エスキリスト教 会	宜野湾市野高328	ジョン・エスサム	"
中央セントラ ルツナス教会	浦添市港川	BOLLINGER	"
天理教那覇 分教会	那覇市辻町3の69	山口国三	諸教
天理教沖縄 分教会	那覇市安里87の1	河合善之助	"
世界救世 球宣教本部	那覇市首里1良町2の9	山根幸一	"
沖縄生長の 家	那覇市崇元寺1の128	松本力	"
ピーエル教団 那覇支部	那覇市松下町1の69の2	山城篤俊	"

○ 神社明細帳に記載されている神社の名称、組織状況、資産状況

- (1) 現在、琉球政府は、昭和20年当時の沖縄県神社明細帳にもとづいて現状に即した神社明細帳を作成の作業中である。
- (2) 資産状況については、琉球政府は神社に報告させていないので不明である。

名称 (社格)	組織		鎮座地	備考
	祭神	神		
波上宮 (官小社)	伊弉册尊, 速玉男尊, 事解男尊		沖縄県那覇市若狭町老丁目番地	
沖縄神社 (県)	舜天王, 尚圓王, 尚敬王, 尚泰王, 源為朝公		沖縄県高里市当麻町参丁目番地 仮宮 那覇市首里弁嶽小嶽	
普天間宮 (特別由緒有神社)	伊弉册尊, 速玉男尊, 事解男尊		沖縄県管下琉球國中頭郡宜野湾村字普天間	
識名宮 (無格)	伊弉册尊, 速玉男尊, 事解男尊		沖縄県管下琉球国島尻郡真和志村識名	
八幡宮 (無格)	応神天皇, 神功皇后, 玉依姫		沖縄県管下琉球国島尻郡真和志村字安里	
沖格宮 (無)	伊弉册尊, 速玉男尊, 事解男尊		沖縄県管下琉球国島尻郡真和志村字安里 仮宮 那覇市通堂町35番地	
天久宮 (無格)	伊弉册尊, 速玉男尊, 事解男尊		沖縄県管下島尻郡真和志村字天久	
末吉宮 (無格)	伊弉册尊, 速玉男尊, 事解男尊		沖縄県首里市末吉	
金武宮 (無格)	不詳		沖縄県管下琉球国国頭郡金武村字金武	
世持神社 (郷)	具志頭文若命, 野口総管常命, 儀間真常命		沖縄県那覇市通堂町参丁目四拾貳番地 仮宮 那覇市大道291番地	
古神社 (郷)	伊弉册尊, 速玉男尊, 事解男尊		沖縄県宮古郡平良町字西里	
浮島神社 (無格)	天照皇大神		沖縄県那覇市松下町 仮宮 那覇市天久1496番地	
沖縄県護国神社 (指)	奥出身陸海軍軍人軍艦ニシキ敏死並ニ戦病没者及公務ニ基因ソテ死没セシ者ニシテ別格 官祭社靖国神社ニ合祀セラレタル祭神		沖縄県那覇市通堂町参丁目四拾貳番地	

○ 沖縄の公立義務教育学校および高校等の施設水準の本土との比較

昭和46.5. / 現在

区分	沖縄の学校の 保有面積 千㎡	基準面積に対する達成率		割合	
		沖縄 %	本土 %	沖縄 %	本土 %
幼稚園々舎	2.5	4.2	8.3	5.3	1.7
小中学校校舎	61.8	6.9	9.5	9.4	4.4
・ 屋体	3.3	1.3	6.9	4.3	2.0
高等学校校舎	1.79	3.9	7.6	9.6	15.7
・ 屋体	6	9	7.9	8.9	2.9
特殊教育学校校舎	1/1	5.7	7.5	10.0	6.1
・ 屋体	1	3.0	4.8	10.0	2.5

○ 沖縄の小中学校の未買上げ敷地の面積および借地料

区分	借用面積 千㎡	借地料 千ドル
小学校	55.2	14.8
中学校	2.4	4.2
合計	76.6	19.0

(注) この数値は、琉球政府文教局より46年7月に提出された資料によつた。

○ 沖縄文化財保護育成対策の内容

- 1 沖縄に所在する文化財について調査を進めるとともに、琉球政府の指定文化財のうち、国の指定文化財として適当と認められるものについて早急に指定を行なう。
- 2 保存の措置が必要な文化財について、その保存修理、防災施設の設置等を行なうとともに首里城等一部戦災文化財の復元を図る。
- 3 沖縄の文化財保護条例の制定等県行政の指導を行なう。

(参考)

沖縄指定文化財一覧(1970.11現在)

種別	指定名称	件数
有形文化財	重要文化財	61
	建造物	24
	絵画	1
	彫刻	10
	工芸	17
	書画	9
	重要民俗資料	1
	重要民俗資料	108
	史跡名勝天然記念物	60
	史跡名勝天然記念物	8
無形文化財	重要無形文化財	1
	計	171

○教員給与の実態

1 俸給表

沖繩	本士
一等級 校長	一等級 校長
二等級 教頭	二等級 教諭等
三等級 教諭等	三等級 教諭等
四等級 助教諭等	三等級 助教諭等

(教育職俸給(小・中・高関係)は、沖繩は四等級制、本土は三等級制である。)

2 初任給

教員の初任給 (大卒)		行政職の初任給 (大卒)	
沖繩	本土	沖繩	本土
二二八・二〇ドル	三八・二〇〇円	一一一・四〇ドル	三四・五〇〇円

(昭和四十六年一月現在(沖繩は給与改定後))

○社会教育施設の現状

昭和46.4.1現在

	公民館	図書館	博物館	青少年教 育施設	視聴覚 ライブラリ
本館	1	3	1	2	7
分館		2			
計	1	5	1	2	7

(注) 公民館については、その他小規模な部落公民館が約600館設置されている。

○公共図書館の規模

筑波政府立

中央図書館 2,003 m<sup>2</sup>

八重山分館 93 m<sup>2</sup>

市立 158 m<sup>2</sup>

コザ市立図書館 162 m<sup>2</sup>

名護市立崎山図書館 268 m<sup>2</sup>

中 学 校				小 学 校				区 分
教員数	生徒数	学級数	学校数	教員数	児童数	学級数	学校数	
二二一人	二三四三人	七 <small>学級</small>	一 <small>校</small>	一八八人	四六三〇人	一四三 <small>学級</small>	一六 <small>校</small>	一級
一五五	二五二四	七四	一四	一九二	四〇九〇	一四五	一七	二級
八四	九七八	三四	一〇	八六	一四九七	六三	一二	三級
八三	一〇五二	四四	一二	一〇五	一八三六	七六	一六	四級
三二	三八七	一四	五	四六	九一二	三四	八	五級
四七五	七二八四	二四三	五二	六一七	一二九六五	四六一	六九	計

◎へき地教育の実態

昭和四五年五月一日現在  
琉球政府文教局調べ。

○ 沖縄における体育・スポーツ施設の実態

1 学校体育施設

小学校	17校
中学校	2校
高等学校	1校
特殊学校	1校
高等学校柔剣道場	5校
夜間定時制高等学校運動場照明施設	10校

2 社会体育施設

水泳プール	3か所
国民体育館	1か所
国民民体運動場	2か所
国民柔剣道場	1か所

(注) 昭和46年度末見込による。



○ 地方教育公務員の実態

—— 琉球政府立、教育区立小中高等学校および特殊教育諸学校の教員数（男女別） ——

（45・5・1現在）

学校種別	教員数 人	内 訳	
		男 人	女 人
小学校	4,872	1,415	3,457
中学校	3,450	2,340	1,090
高等学校	2,483	2,021	462
盲学校	31	11	20
聾学校	56	17	39
養護学校	108	35	73
計	10,980	5,839	5,141

（注） 昭和46年5月1日現在の琉球政府文教局学校  
 基本調査における教員の男女別員数は、向政府に  
 おいて未集計である。

琉球政府立、教育区立小中高等学校および特殊教育諸学校の教員数(年令別)

(45・5・1現在)

学校種別 \ 年令別	29才以下	30才~39才	40才~49才	50才~59才	60才以上	不適合	計
小学校	1,026人	1,767人	1,222人	526人	246人	85人	4,872人
中学校	1,128人	1,560人	424人	164人	63人	91人	3,430人
高等学校	1,061人	1,134人	176人	65人	47人	-	2,483人
盲学校	15人	8人	2人	6人	-	-	31人
聾学校	26人	16人	7人	5人	2人	-	56人
養護学校	49人	37人	14人	7人	1人	-	108人
計	3,305人	4,522人	1,845人	773人	359人	176人	10,980人

(注) 昭和45年5月1日現在の琉球政府文教局における実態調査による。

昭和46年5月1日現在の琉球政府文教局調査における教員の年令別員数は、未集計である。

○琉球大学の国立移管に伴う整備計画および予算措置

1. 整備計画

琉球大学は、現在、法文、教育、理工、保健および農学部のみ学部入学定員920名か、同短期大学部入学定員200名で構成されているが、教員組織等に未整備な点もあり、琉球大学当局とも十分協議の上、国立に移管するにあたっては、次のような計画で整備したいと考えている。

(1) 学部毎組織

区分	現		行		整備計画	
	入学定員	教員数	入学定員	教員数	入学定員	教員定数
農学部	-	1	-	-	-	1
法文学部	315	70	280	-	280	95
教育学部	220	49	220	-	220	111
理工学部	150	66	240	-	240	94
保健学部	60	16	60	-	60	45
農学部	175	62	120	-	120	90
計	-	26	-	-	-	40
短期大学部	920	290	920	-	920	476
短期大学部	200	12	200	-	200	35
附属病院	-	1	-	-	-	90
合計	1,120	303	1,120	-	1,120	601

(注) 教員数には助手を含み、現任教員数は、46年7月1日現在のものである。

(2) 施設整備

図書等の設備については、本土の国立大学の水準に達するようできるだけ早急に整備する予定である。

なお、首里城跡の現敷地は、狭いであると同時に、文化財地区でもあり、現敷地での施設整備が困難な状態になつているので、将来別地に移転する計画を検討中である。

2. 47年度概算要求額

総額	4,874百万円
内訳	
学部等整備運営費	3,078
附属病院整備運営費	1,559
施設整備費	437

昭和47年度文部省所管沖縄関係概算要求額調

事項	項目	46年度予算額 百万円	47年度要求額 百万円	概要	要
義務教育費国庫負担金	(一般会計)	0	7,900.0	1. 給与費等	7,656
				2. 教材費	244
公立養護学校教育費国庫負担金		0	11.0	1. 給与費等	1.05
				2. 教材費	5
要保護及準要保護児童生徒援助費		0	15.9	学用品費、通学用品費、通学費、修学旅行費 医療費、学校給食費	
義務教育教科書費		0	22.2	47年度後期用および48年度前期用等	
特殊教育設備整備費等		0	6.7	1. 設備整備費	3.1
				2. 就学奨励費ほか	3.6
へき地教育設備整備費等		0	10.4	1. 設備等整備費	9.3
				2. へき地学校保健管理費等	1.1
理科、産業教育振興費		0	41.8	1. 理科教育等設備費	7.7
				2. 産業教育設備費	34.1
幼稚園教育振興費		0	24.9	1. 公立幼稚園教員給与費補助	2.25
				2. 私立幼稚園委託費補助	8
				3. 幼稚園々々等設備費補助ほか	1.6
高等学校定時制通信教育振興費		0	2.9	1. 通信教育手当	1.3
				2. 設備費等	1.6
育英事業費		0	25.4	1. 沖縄学生招致	14.6
				2. 沖縄育英奨学事業費補助	8.8
				3. 育英資金貸付金ほか	2.0
社会教育助成費		0	10.6	1. 社会教育設備費	5.4
				2. 社会教育指導員の設置	1.2
				3. 青少年教育振興費	1.1
				4. 婦人家庭教育振興費	2.0
				5. 視聴覚教育振興費ほか	9
体育振興費		0	9.87	1. 沖縄復帰記念特別国民体育大会	9.50
				2. 沖縄体育協会々々館建設費補助ほか	3.7

事項	項目	46年度予算額 百万円	47年度要求額 百万円	概 要
学 校 給 食 費		0	1,031	1 学校給食用設備整備費 85 2 高度へき地学校児童生徒パン・ミルク給食費 82 3 学校給食用物資無償供給経費 808 4 都道府県学校給食総合センター整備費 34 5 学校栄養職員設置費ほか 22
	私立学校助成費	0	80	1 私立大学経常費助成 78 2 私立学校教職員共済組合補助 2 3 日本私学振興財団出資(財投 820)
	国立青年の家の設置	0	1,060	1 施設費 755 2 船舶建造費 180 3 運営費 125
	沖縄復帰記念事業	0	62	1 復帰記念学校植樹行事等 20 2 復帰記念児童生徒親善交歓事業 42
	文化振興費	0	21	1 青少年芸術劇場公演 11 2 移動芸術祭ほか 10
文化財保存事業費	0	148	1 国宝重要文化財の保存修理等 38 2 戦災文化財の復旧整備 31 3 史跡等の保存整備 72 4 無形文化財の保護 7	
国立学校特別会計へ繰入 その他 計	0 0 17,467	4,330 130 17,467	1 琉球大学の運営費及び施設整備費	
(国立学校特別会計)				
琉球大学の創設費 一般会計より受入 うち 病院収入、授業料等		0	4,874	1 5学部1短期大学部 3,078
		0	4,330	2 附属病院:16診療科、400床 1,359
		0	544	3 施設整備 437
文 部 省 所 管 純 計	0	18,011		

文部省

- 衆 沖特 (社)(公)
1. 教育区・連合教育区の職員数、教育区・連合教育区  
の職員の復帰後の配置計画
  2. 沖縄の宗教団体の法に基づく法人である  
宗教団体の名称、組織状況、資産状況
  3. 琉球政府が保管している神社明細帳に  
記載されている神社の名称、組織状況、  
資産状況
  4. 沖縄の公立義務教育学校及び高校等の  
施設水準の本土との比較
  5. 沖縄の小・中学校の未買上げ敷地の  
面積及び借地料
  6. 沖縄文化財保護育成対策の内容
  7. 教員給与の実態
  8. 社会教育施設の現状
  9. 公共図書館の規模
  10. へき地教育の実態
  11. 体育・スポーツ施設の現状
  12. 地方教育公務員の実態 - 琉球政府立、  
教育区立小中高等学校及び特殊教養学校の

2  
教員数 (男女別・年令別)

13. (各県別公立施設の本土との格差 - 学校施設、  
社会教育施設等に前掲のとおり)
14. 琉球大学の国立初等に伴う整備計画  
及び予算措置
15. 47年度文部省所管沖縄関係概算要求額調

○ 参 沖特 (社)

衆・沖特に提出した資料のうち、1.~6.のヲ  
提出